

## 旧本郷一小跡地（仮称）ほんごうパーク管理運営検討会（第3回）

日 時：2025 年 7 月 15 日（火）18：30～

場 所：コバコ

参加者：6 名

事務局：4 名

### 1. 水遊びの前日・当日について

（コアメンバーより資料説明の補足）

- ・撤収時にブルーシートやプールを拭くための古タオルの提供に協力してほしい。
- ・熱中症アラートが発令された場合、中止判断の可能性あり。
- ・マチミセ側の予算で、ミストファン等の熱中症対策の機材を休憩スペース等に配置予定。
- ・出店者用駐車場の利用状況も確認した方がよい。→合計 21 台

（水遊び施設アンケートに関する意見）

- ・アンケート調査票に仮設の写真もあった方がよい。
- ・仮設の場合は、夏の間だけ等、いつもやっていないことを調査票に記載した方がよい。
- ・この調査票はどちらかにしぼるものか。  
→（事務局）両方ありとの結論もあると思う。今回、良いと思う理由の方をよく聞いて、その結果を踏まえて皆さんと話し合いたい。

### 2. 見守り活動の運営について

#### ●自転車乗り入れについて

- ・自転車は乗り入れ可能か。  
→（事務局）自転車の乗り入れは可能。  
町で現在も現地に設置している「利用ルール」にも記載あり。
- ・地面の状態により遊びには適さない可能性があるのでは。
- ・地面ががたがたでも乗り回して遊ぶ子どももいる。  
幼児の自転車の練習には適さないが、マウンテンバイクなどは乗っている子どもが実際にいる。

#### ●退出時のチェックリスト

- ・担当者が毎回チェックできる形式のリストを活動日誌に入れておけばよい。

## ●ちらし記載内容

- ・ボックス内で、勉強や読書などの静かな活動も可能だが、スペースが限られているため、ちらしの表現を工夫した方が良い。  
近くに生涯学習センターの図書室やふれあいホールもあるので。
- ・ボックスは広くないということ、少し休憩ができるということを記載すればよいのではないか。
- ・遊び道具があることと、休憩スペースとして利用できることを言えばよい。
- ・タイトルも本郷パークで遊ぼうだけで良い。
- ・メタセコイヤの緑陰のベンチはとても良い風景。  
ここで、ゆっくり本を読んだりしたらよい場所。  
→（事務局）公共施設においても、決まった使い方ではなく、自由にいろいろな使い方ができればよいと考えている。
- ・子どもはまた違う使い方をするだろう。
- ・現代の子供は携帯やスマホ、テレビゲームなしでは遊べない傾向がある。  
遊びを創造できる場、喚起するような空間になると良い。

## ●緊急時の対応と安全管理

- ・できれば AED の設置と使用方法の講習が必要。  
実際に高校で突然の発作に対応し、命が助かった事例あり。  
何がおこるか分からないという前提で安全管理を考える必要がある。
- ・熱中症対策として、応急処置の知識やマニュアルの整備が重要。  
シンプルで分かりやすい表現が必要。
- ・冷蔵庫に濡れタオルや水筒を準備するなど、簡単な対策から始めたらよい。  
リサイクル品で良い。
- ・AED の設置場所の確認と周知が必要。ミサトベースや近隣施設との連携も検討。
- ・熱中症対策のチェックリストや応急処置のマニュアルを印刷して置いておく。  
緊急時はパニックになるので、簡潔な表現であることが重要。
- ・活動中に気が付いた点が出てくると思うので、書き留めておいて、後で皆に共有してほしい。

## ●見守り活動の準備と日程調整

- ・準備と広報を万全にするため、活動開始を延期した方が良い。
- ・（事務局）マニュアルをみなさんで集まった場で共有して理解してから活動開始した方が良い。
- ・夏休み明け、8月25日以降、学校開始後に見守り活動を開始する方針とする。

- ・マニュアルの打合わせは 8 月 7 日（木）18:30 とする。  
マニュアルを確認し、共通理解を図る。また見守りスケジュールを検討するので考えておいてほしい。陶磁器会館が定休の水曜日は除外。活動時間は 2 時から 5 時の間とする。  
次回、8 月末から 9 月のスケジュールを次回までにまとめる。

●せと市でのボックスの使用について

- ・緊急時や具合が悪くなった人への対応など、限定的な使用を想定している。
- ・昨年作成したマニュアルに沿って運用する。

●次回ミーティングの日程と内容

- ・8 月 7 日（木）の 18:30 から開催予定。
- ・見守りのマニュアルを中心に確認する会とする。  
水遊びの結果の確認はその次の会で行う。

### 3. 管理運営体制に関する検討について

- ・10 月初旬頃に予定している町民懇談会について、ほんごうパークファンメンバーが説明する場合は、事前に検討会等で資料を共有し、説明内容を理解する必要がある。

●視察について

- ・先行事例先の訪問は予定しているのか。  
→（事務局）予算の問題もあり、近場（町内や若松）であれば可能性はあるかもしれないが、基本的には予定していない。
- ・水遊びや見守り活動をやって、もう少しどのような体制にするかを話し合った後でないと、見に行っても、何を聞いたら良いか分からない。  
聞く内容が分からないとどこに行ったらよいかわからない。  
水遊び後の検討会で議論した上で、必要に応じて、行くかどうかが決まってくる。  
予算がなければ自費で行く人もいるだろう。  
関わり方も人それぞれであり、それも話し合ってから、視察に行った方が効果を得られる。
- ・7-9 月は本郷は忙しい時期なので、訪問するとしても 10 月以降になる。  
それまでに方向性を検討する必要がある。  
同時に、安く行ける方法があれば、そのアイデアも募集したらよい。
- ・まず地元の NPO であるクラブ衆の勉強会を行い、イメージを具体化してはどうか。  
理解を深め、ほんごうパークの運営に活かせるかどうかを検討する。  
その話を聞いてから、外部訪問の必要性を判断すればよい。

以上